



Build Something Cleaner



ボーイングは、明確な戦略とコミットメントに基づき、気候変動と環境にかかわる問題に積極的に取り組んでいます。私たちのビジネス、お客様、従業員、そして世界に広がるボーイングのコミュニティにとって、この取り組みは大切なことです。

航空宇宙産業は、現代の生活に欠かすことのできないものとなっています。その発展からもたらされる多大な恩恵によって、業界とボーイングは成長し続けることができます。

私たちは一企業として、航空宇宙分野の技術的リーダーシップを維持するには、環境への配慮が不可欠であると認識しています。ボーイングの社員一人ひとりが、CO₂ 排出量や騒音の大幅な軽減に向けて製品とサービスの改善に積極的に取り組んでいます。つまり、ボーイングは地球環境保全のために不断の努力を重ねているのです。

より詳しい情報はウェブサイト(英語)をご覧ください。
www.boeing.com/environmentreport

ワシントン州の737型機製造工場とサウスカロライナ州の787型機製造工場で使用している全電力が再生可能資源由来しています。



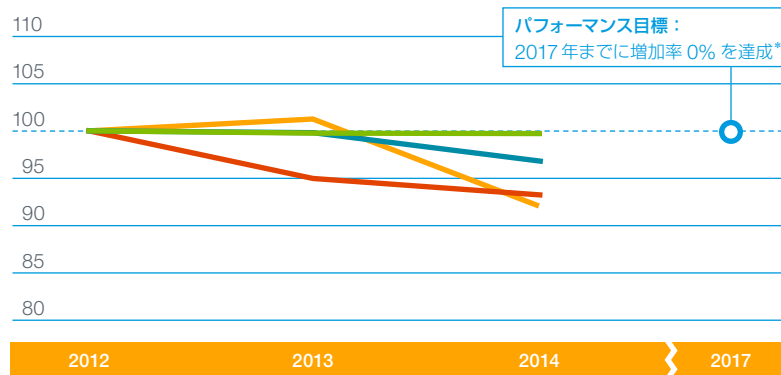
ボーイングは民間航空機の生産量を**50%以上**増やす一方、工場における環境フットプリントを継続して削減しています。



ボーイング民間航空機の**研究開発費のうち75%以上**が、より高い効率性の実現と、企業がどれだけ環境負荷を削減したかを示す**環境パフォーマンス**の向上に費やされています。



2014年の環境パフォーマンス
 ボーイングの主要な製造施設における代表的データ
 (2012年をベースラインとする業績パーセンテージ)



対2012年比の削減幅

- 温室効果ガス排出量 3.2%
- 取水量 6.8%
- 廃棄物の埋立量 0.2%
- 有害廃棄物の発生量[†] 8.0%

* 絶対値での増加率 0%：取水量、温室効果ガス排出量、廃棄物の埋立量

収益調整後の増加率 0%：有害廃棄物の発生量

[†] 収益に合わせて正規化